

皇子屋便り

No.38

2026年1月26日

生活クラブ生協大阪 がっこう部会

里子屋便りとは？ 「里」は里山の里。「子屋」は江戸時代のがっこう（寺子屋）の子屋。まさに、豊かな自然の中で暮らしそのものが、がっこう生たちの学び舎となっている里山の様子をお伝えします。

チームワーク抜群の第13期生、皆で色々できました！

【子どもが育つ・子どもと育つ・子どもを育てる】をモットーに活動している里山のがっこう第13期下半期の様子をお知らせします。心温まる卒業生からいただいたコメントをご紹介いたします。

~~~~~ • • • ~~~~ • • • ~~~~ • • •

私は、普段は同級生とばかり関わっていたので、里山のがっこうに参加し、異なる年齢の人と関わり、色々な価値観を得ることができました。



カラーのお便りは  
こちらから見ることが出来ますよ

また、下級生のお世話をすることで、责任感が生まれました。異なる場所に住んでいる子たちと一緒に遊んだり話したりすることで、地元の同級生のみの世界で身に沁みついていた固執した考え方・偏見を自分が持っていたことに気づき、柔軟な考え方を持つ人になろうと思うきっかけとなりました。

大自然の中で、星を見たり、畑で採ったもので料理したりして自分の住んでいるところではすることのない貴重な経験ができました。がっこう生だけでなく、スタッフさん（大学生などのお姉さんお兄さんも含めて）と和気あいあいとご飯を作るのも楽しかったです。自然にあるものを使って、工作するのも乐しかったです。

料理では、にんじんの葉の天ぷらを初めて食べたのですが、パリパリとした食感でとてもおいしかったです。それ以降、食べる機会はありません。農家さんが持っていたジャンベ（西アフリカのたいこ）をたたかせてもらったりもしました。

小学校で模擬店をしたこともありました。私の班は、鳥丼・シャーベット・ポップコーンを売りました。森遊びでは、ハンモックで遊ぶのが面白かったです。川遊びでは、びしょびしょになったのもよい思い出です。

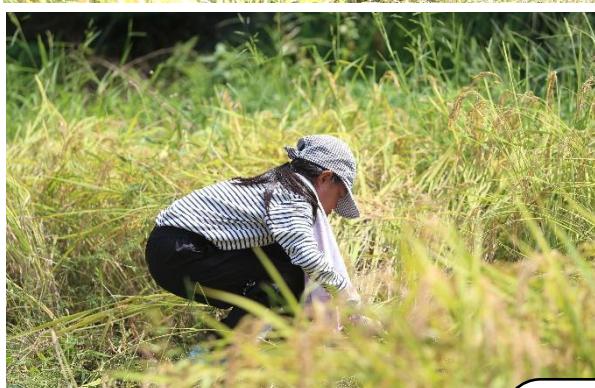
朝一番に田んぼの草引きに行くと、トンボが羽化しているのを見ました。夜にナイトハイキングに行つたこともありました。通る道には電灯もなく、手持ちの懐中電灯だけでカエルが大合唱する里山を歩きました。キャンプファイヤーをして、みんなで歌を歌い、焼きマシュマロを食べたのもおいしかったです。夜寝る前に、がっこう生の友だちと遅くまでUNOをして遊んだのも楽しかったです。

里山のがっこうは、普段住んでいる街中ではできない自然体験やあそび体験を、異なる年齢の人たち、異なる場所に住んでいる人たちと一緒に経験できた場所だったと思います。



# 第13期下半期のがっこう生たち

9月 13-15日 稲刈りだ！ 模擬店だ！ 里山体験だ！



今年は豊作♪



作って、売って、食べて、おなかいっぱい





11月 2-4日

新米のお味はどうですか？

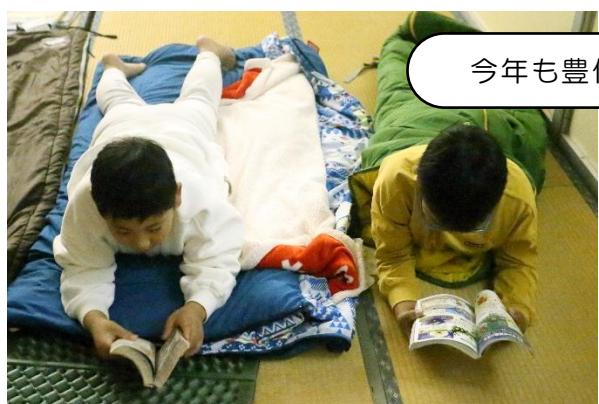




お米を食べるまでを体感。



師匠、炊けた～？



今年も豊作に恵まれますように



がっこうの活動に興味を持たれた方はご連絡をお待ちしています。

| 今後の日程   | 主なイベント                                     |
|---------|--------------------------------------------|
| 2月 15 日 | 第 14 期生 説明会 @大阪市<br>別途チラシを配布しています。ご参照ください。 |

連絡先：組織運営課 吉田 072-641-5561